

未来の子どもたちに残したいマチへ マチごとエコタウン所沢

第36号

マチごとエコタウン
TOKOROZAWA

環境会報

所沢市環境推進員連絡協議会

“動け所沢” コロナに打ち勝つには！物を大切にする

所沢市環境推進員連絡協議会 会長 毛利 吉成



今春早々、新型コロナウイルスの感染拡大により、経験したことの無い日常生活を強いられることになりました。

「緊急事態宣言」が出され、密閉、密集、密接の状態を作らないなど感染防止のためソーシャルディスタンスを意識しながらの自粛せざるを得ない状態がまだまだ続いています。

そんな緊張した中、令和2年度期の所沢市環境推進員は、1,091名の方々が各地区から推薦され環境推進員として藤本正人所沢市長から委嘱されました。

皆様におかれましては、ご健勝にて益々のご活躍のこととお喜び申し上げる次第でございます。

さて、今期の連絡協議会は、※別記のみなさまに役員としてご活躍をお願いすることになりました。諸事業の実施にあたりましては、現在、コロナ渦中の感染防止対策を最優先に中止せざるを得ない状況をご理解いただき書面等をとお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

コロナ禍中の日常は、身体的な距離をとるなど人と人を離れさせました。それは、あくまでも物理的な距離をとることであり、心と心（人と人）の「絆」の理解を超えた距離をとることではありません。

コロナ禍と言う不条理な災禍に「つながる」ことのあたたかさや繋がらなければ乗り越えられないのが「絆」の強さであるとあらためて再認識したところでございます。

コロナに打ち勝つためには、豊かな物質に甘んじない「ものを大切に」を柱に“動け所沢”を理念に紡がれた「絆」による私たちができる環境美化活動も命を守る感染防止の有効な手段の一つではないでしょうか。

そんなコロナ渦中ではございますが、所沢市は11月1日「秋の環境美化の日」の一斉美化清掃活動を市内全域で実施いたします。よろしくご協力をお願い申し上げます。

所沢市は、環境省・日本財団の「全国一斉海ごみゼロ！ プラごみゼロ！
—清掃キャンペーン」に参加しています。

令和2年度所沢市環境推進員連絡協議会総会について

緊急事態宣言の発令により、総会は6月1日に書面表決方式にて行いました。会則第10条の2により各地区から5名の代表者を選出いただき、議案第1号から第5号まで計55名の方全てからご承認を頂きました。

令和2・3年度の役員は、下記の皆様です。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・会長 毛利 吉成 (山口) | ・会計 久下 紀世 (新所沢) |
| ・副会長 鈴木 由紀子 (吾妻) | 宮沢 勝利 (新所沢東) |
| 宮高 隆 (並木) | ・監事 荻野 義雄 (三ヶ島) |
| 片居木 栄 (小手指) | 荒木 孟 (柳瀬) |

所沢市水生生物調査委託事業の概要

環境対策課

環境対策課では河川の水質を総合的に評価するため、市内の代表的な一級河川である柳瀬川、東川について合計7か所において水生生物の生息状況を令和元年から令和3年の3か年をかけて委託調査しております。

現在所沢市では河川の水質を評価するにあたり、化学的手法を用いた水質調査を毎月実施しています。これは採水時の瞬間的な水質を知ることができる調査となっており、河川に油や薬品などが流されて異常な状況ではないかを把握することができます。これに対して水生生物調査は、長期的な河川の水質状況を知ることができる調査となっており、河川の安定した水質の評価をすることができます。当市では約35年前の水質結果や生物の生息状況を把握しており、それと比較することで、生物の観点から見た水質の改善傾向や生物の変遷を知ることができます。

令和元年度は柳瀬川の二柳橋と清柳橋、東川の中橋の3地点において実施しました。水生生物は62種、魚類は16種、藻類は86種を確認でき、重要種として水生生物ではマスダチビヒラドロムシ

ロムシ、魚類ではアユ、ドジョウ及びミナミメダカ、付着藻類ではオオイシソウが確認されました。水生生物による水質判定結果は二柳橋及び清柳橋は比較的良好な水質で、中橋は二柳橋、清柳橋と比較してやや汚濁が進行した状況にあるという結果になりました。令和2年度は東川の狭山湖橋と弘法橋の2地点において実施しました。現在、委託調査会社にて調査結果をまとめている最中です。

また、令和3年度は柳瀬川の高橋と松戸橋を調査予定です。令和3年度の調査が終わると全7か所の調査結果が出そろるので、約35年前の調査結果と比較し、所沢市内の河川の水質状況はどう変化しているのかを、皆様にお知らせできる予定です。



アユ



マスダチビヒラドロムシ

海洋プラスチックごみ問題とは

プラスチックスマートタスクフォース

プラスチックごみによる海洋汚染が国際問題となっています。この問題を解決すべく、世界各国において、プラスチックごみの排出抑制に向けた様々な取組みが行われています。

本市においても、平成30年12月に市長が「マチごとプラスチックごみ削減」を宣言して以降、市が率先垂範し、プラスチックごみ削減に向けた取組みを実施しているところです。

さて、海に存在するごみ（海ごみ）の流出源は約8割が陸域からとされています。また、海ごみのうち、約6割から8割はプラスチックごみであると言われています。

海に流出したプラスチックごみは、生態系に悪影響を及ぼしています。例えば、海中を漂うレジ袋を海洋生物が誤飲し、死んでしまう事例が報告されています。

また、海に流出する過程で微細となったプラスチックは、有害物質を吸着しやすいため、魚などが誤飲した場合、体内に有害物質が蓄積されてしまいます。そして、体内に有害物質が蓄

積された魚を人間が口にすることで、人体にも有害物質が取り込まれるリスクがあると考えられています。

プラスチックは非常に便利でとてもよい素材です。しかし、適正に処理されなかったプラスチックは、前述のとおり、地球環境に悪影響を及ぼします。プラスチックごみの適正な排出、処理は勿論のこと、使い捨てプラスチックの使用を止めるなど、今後はこれまで以上にプラスチックと「賢く付き合う」ことが重要であると考えます。

本市では、「マチごとエコタウン所沢」の精神のもと、今後もプラスチックごみ削減に向けた様々な取組みを展開してまいりますので、ご理解・ご協力、よろしくお願い申し上げます。



地域で生み出される再生可能エネルギーをご家庭でも

再生可能エネルギーの普及を目的とし、2018年5月、所沢市、JFEエンジニアリング株式会社、飯能信用金庫、所沢商工会議所が出資し、「株式会社ところざわ未来電力」を設立しました。

現在、東部クリーンセンターや市内小中学校の太陽光、松が丘のフロートソーラーなどで発電された地産電力を、市役所・まちづくりセンターなどの公共施設で利用するとともに、市内事業者（高圧電力）様にも再生可能エネルギーを中心とした電力を供給しております。

2021年1月からは、「トコロんでんき」の名称で一般のご家庭や低圧の事業者様にも販売を開始することになりました。

地産再生可能エネルギーを中心とした電力を市民の皆様に供給する他、次世代を担う子育て世代を応援する「子育てサポートプラス」等のメニューも取り揃えています。本年10月から申込受付を開始し、通常よりもお得な早期入会キャンペーンも実施しております。電力会社の切替に伴う工事費等の費用は基本的にかからず専用WEBから簡易に申し込みができます。

普段何気なく使っている電気ですが、この機会に地球環境を考え、地域で生み出される再生可能エネルギーの利用を検討してみませんか。

『ところざわ未来電力』は、地域のくらしと地球の未来を、再生可能エネルギーの普及で支えていきます。



フロートソーラー所沢
東部クリーンセンター
など

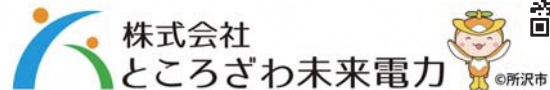


ところざわ
未来電力



ご家庭
事業者様
公共施設

HP : <https://tokorozawa-mirai.co.jp/>
Tel : 04-2940-5030



©所沢市

「新型コロナウイルスの感染の中でのごみ」について

資源循環推進課

新型コロナウイルスの影響により、私たちの社会は、様々な変化を余儀なくされています。そしてそれは、ごみについても例外ではありません。

4月から5月にかけて「緊急事態宣言」が発出され、ステイホームが呼びかけられていた期間、家の片付け等をしたり、家で食事をする方が増えたためか、家庭から出るごみの量は前年同時期と比較して20%ほど増加しました。緊急事態宣言中は、不要不急のごみの持ち込み等は自粛（延期）いただくようお願いしておりましたが、感染症終息の見通しが立たない中、今後また同様のご協力をお願いしなければならないことも考えられます。

また、特に新型コロナウイルス感染症が疑われる場合に、ご家庭でマスクやティッシュ等を捨てるにあたってご注意いただきたいのは、①ごみに直接手を触れない、②ごみ袋の口はしっかりと密閉する、③ごみを捨てた後は必ず手を洗う、といった点です。また、可能であればウ

イルスの感染力がなくなるとされている1週間程度、ご家庭で密閉して保管してから捨てていただくようお願いします。

こうしたことにご協力いただくことで、ご家庭内での感染を防ぐだけでなく、ごみの収集、処理に携わる清掃職員への感染を防ぐことにもつながります。

ごみの収集、処理は日常生活に欠かすことのできないインフラです。新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が少しずつ定着しつつある昨今、所沢市といたしましては、コロナ禍の中にあっても安定したごみ収集、処理が継続できるよう努めてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



無防備に捨てられたマスク

全国地方公営企業初！「ところざわの水」紙パック水の製造

所沢市上下水道局経営課

所沢市上下水道局では、未来の地球に今できることの一つとして、環境にやさしい「ところざわの水」紙パック水を製造しました。この取組は、全国の地方公営企業としては初の試みです。

平成29年度に迎えた水道通水80周年において「安全で安心、良質な水道水」をPRするため、市内の地下300mからくみ上げた水でペットボトル水500mlを製造しましたが、本市が平成30年12月に「マチごとプラスチックごみ削減」を宣言し、プラスチックごみの発生抑制や適正処理、さらには使用抑制に取り組む活動を開始したことを受け、当局では「つくる側の責任」の立場から、環境負荷の小さい紙パック水の研究に取り組みました。

令和2年度に迎えた市制施行70周年記念事業の一環として、紙製容器を採用した「ところざわの水」の製造が成功したことで、生態系に大きな影響を及ぼすプラスチックごみ削減を図ることができました。

紙パックの原料はFSC※の規格で認められているリサイクル材を使用し、注ぎ口は製品の衛生面を考慮するとともに、子どもたちのワクチン支援に役立てることができるプラスチック素材のキャップを使用しました。内容量は1リットル、賞味期限は令和3年6月上旬まで。製造数は限定18,000本で、所沢ブランド特産品を扱う市内の事業者店舗を中心に販売しています。

国際的にプラスチックごみ削減が唱えられている今、この取組がプラスチックごみに対する発生抑制の一助となることを期待しています。

豊かな自然があってこそ水道事業は成り立ち

ます。

地球環境をより豊かにし、笑顔をつくり「暮らし」と「産業社会」が発展することへの願いを込めて、当局は24時間365日、いのちの水をお届けします。



※FSCとは、「Forest Stewardship Council（森林管理協会）」の名称の頭文字。

適切な森林管理がされていると承認された森林から収穫された木材、または認められた原料を使用した製品や紙製品などには、このラベルが付けられます。製品が、環境・社会・経済面で国際的に合意されて生産された商品であると確認するラベルです。

編集後記

7月からプラスチック製買い物袋の有料化に伴い、プラごみ削減に向け小さな一歩を踏み出した。（レジ袋は廃プラごみの数パーセント占める。）市民へのプラごみ削減への意識改革を狙った。無料のレジ袋が1枚3～5円になり、スーパー店頭でのエコバッグ持参風景は日常的になり、マイバッグ・エコバッグの利用が進み、エコバッグを使用した新しい生活様式が生まれつつある。ところが新型コロナウイルスがこの計画に大きく立ちほだかった。外出自粛で飲食業界が苦境に立たされ、次善策としてテイクアウトが進み、テイクアウト用容器を始めとする使い捨てプラスチック製品、又コロナ対策のマスク（プラスチック製）が大量に製造され、プラごみ発生につながり新たな規制・対策が必要。引き続き市民の皆さんの英知を結集してプラごみ削減に取り組む。

編集委員（◎印は委員長）

◎宮高 隆（並木）、久下 紀世（新所沢）、新居 亨一（山口）

事務局：所沢市 環境クリーン部 生活環境課

☎04-2998-9370

所沢市のホームページ

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

トップページ⇒暮らし⇒環境・みどり

⇒生活環境⇒環境推進員連絡協議会についてを選択してアクセスしてください。

令和2年度 秋の「環境美化の日」について

生活環境課

秋の「環境美化の日」は、令和2年11月1日（日曜日）に行います。

ただし、各自治会町内会様で実施・中止の最終決定は委ねます。

実施の場合は、マスク着用等の新型コロナウイルスの感染防止対策をお取りいただき、鼻水・唾液のついたごみは直接触らない等の注意をお願いいたします。

彩の国「新しい生活様式」安心宣言の中、活動したいと思えます。